

「いしかわ男女共同参画プラン2011改定版」に基づく主な事業

【強化する3つのポイント】

働く女性の活躍推進

企業の意識改革

○いしかわ男女共同参画推進宣言企業 「女性活躍加速化クラス」認定制度

- 企業における女性活躍推進セミナー
- 女性活躍推進実践講座
- 女性活躍推進取組事例集

女性の人材育成 (公財) いしかわ女性基金

○女性人材育成プログラム

- ・管理職養成研修 (管理職候補)
- ・キャリアデザイン研修 (中堅女性社員)
- ・ビジネス能力研修 (若手女性社員)

女性に対する暴力の根絶

性犯罪・性暴力への対策の推進

- パープルサポートいしかわの運営
(いしかわ性暴力被害者支援センター)

若年層へのDV予防啓発の充実・強化

- 若年層向けDV予防啓発小冊子の作成

安心して相談できる身近なDV相談体制の充実

- DV相談員等対応力向上研修

地域での男女共同参画の推進

地域の男女共同参画啓発活動の強化

地域の防災対策への女性の参画推進

- 男女共同参画推進員を対象とした
啓発力向上講座、啓発紙の作成

○いしかわ男女共同参画推進宣言企業 「女性活躍加速化クラス」認定制度

女性の採用・登用やワークライフバランスの推進などについての具体的な数値目標の設定を認定要件とすることで、企業における女性活躍に向けた取り組みをさらに前進させる。

○企業における女性活躍推進セミナー

経営者等を対象に、女性活躍推進が重要な経営戦略であることを理解するセミナーを開催。(R1.10.21)

講師：中島 伸子 氏 (株)井村屋グループ代表取締役社長 事例発表：(社福)篤豊会、(株)PFU 参加者：69名



○女性活躍推進実践講座

- 数値目標設定研修** 数値目標設定に向けた自社の現状分析方法等を取得。(3回実施 計70名受講)
合同コンサルティング 企業の取り組みに対して、専門家(コンサル)から助言を受ける。(6社11名参加)

○女性活躍推進取組事例集

先進企業の取組事例を紹介。経済団体、大学等へ配布。

○女性人材育成プログラム (公財) いしかわ女性基金

- ・**管理職養成研修** (管理職候補) 管理職としての能力開発、意識改革を図る。 受講者 27名
- ・**キャリアデザイン研修** (中堅女性社員) 後輩のロールモデルを目指すと共に、自らのキャリアビジョンを描く。 受講者 35名
- ・**ビジネス能力研修** (若手女性社員) 基礎的なビジネス能力の向上と意識の醸成を図り、職域の拡大につなげる。 受講者 36名



(取組事例集)

○パープルサポートいしかわ（いしかわ性暴力被害者支援センター）

性暴力被害者が心身のケアを安心して受けられるようワンストップで必要な支援をコーディネートするとともに、警察への届出を促し、被害の潜在化を防ぐ。

- ・未成年者の被害を早期に支援につなげるため、小中高校生、保護者向けのリーフレットを作成
- ・養護教諭、教育相談担当教員等に対する研修を実施 講師：藤森 和美 氏（武蔵野大学教授）

○若年層向けDV予防啓発小冊子の作成

若年層がDVについての理解や知識を深め、DVの未然防止を図るため作成。高校の新生に配布。

○若年層向けDV予防啓発セミナー

DVの未然防止を図るため、高校生等を対象に、男女が互いに尊重し合う関係について考える講座を実施。R1：県内高校等 13校 約2千名受講

○DV相談員等対応力向上研修

対象：市町相談窓口職員、市町担当課職員、県内DV相談窓口等の職員

○「いしかわパープルリボンキャンペーン」の実施

DVや性暴力等を許さないという意識を社会全体で醸成するため、市町や各種団体と協力し、11月に一斉啓発活動を実施。街頭キャンペーン、パープルリボンツリーの設置等

- ・女性に対する暴力をなくすためのシンポジウム（11月23日 小松市と共催）

「DV／子どもへの虐待・その影響」講師：松本 和子 氏（NPO法人Saya-saya代表理事）



〈啓発リーフレット〉



〈キャンペーンポスター〉

○男女共同参画推進員を対象とした啓発力向上講座

具体的な事例を学びながら、これからの地域での男女共同参画推進活動の進め方をワークショップを通して考える。

講師：石阪 督則 氏（埼玉大学教授） 加賀・能登 参加者計 75 名

男女共同参画推進員

地域における男女共同参画推進の担い手として、県民の意識改革などの普及啓発に取り組む。97名を委嘱。

○啓発誌「男女がともに輝く石川に」の活用

職場・家庭・地域それぞれにおける意識改革の必要性、その実践へのヒントをイラストやデータでわかりやすく示し、取組を後押しする。

推進員の啓発活動等で活用。5,000部作成



その他

男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

小学生向け 啓発副読本の作成

対象：小学5年生
マンガを用いた副読本
学校や家庭における男女共同
参画教育の意識啓発に活用



大学での男女共同参画ワークショップ

性別にとらわれない生き方について、職員と学生が意見交換
R1：4校5回 約700名

男女共同参画のつどい

男女共同参画週間（6月23日～29日）にちなみ、広く県民に
男女共同参画社会の必要性を啓発するため開催
R1：「学び 考え 行動へ」をテーマに講演とパネルディスカッション